

北海道の死亡野鳥から高病原性 鳥インフルエンザウイルスが検出されました！

～予防対策に不備がないか再度確認して下さい～

- 今シーズンも過去最大規模の発生(26県、84事例、1,771万羽殺処分)となった令和4年シーズンと同時期に野鳥からウイルスが検出されました。
- すでにウイルスに感染した渡り鳥が国内に飛来しています。

高病原性鳥インフルエンザ発生状況 (R6年シーズン)

今シーズン初の
検出事例です！

9月30日

・北海道乙部町でハヤブサ1羽の死亡個体を回収

10月4日

・高病原性鳥インフルエンザウイルス検出



- ① 衛生管理区域に立ち入る人・車両等の消毒、区域専用の衣服及び靴の設置
- ② 家きん舎に立ち入る人等の消毒、家きん舎ごとの専用の靴の設置
- ③ 野生動物の侵入防止のためのネット等の設置・点検及び修繕
- ④ 家きん舎周囲、飲水の消毒

予防対策

死亡羽数が増える等の異状が見られたら、すぐに下記まで連絡して下さい。

京都府南丹家畜保健衛生所TEL：0771-42-3308 (夜間・休日も転送機能で連絡可能)